

第99回新生ふくしま復興推進本部会議
第17回福島イノベーション・コースト構想推進本部会議 合同会議 議事録

- 日時：令和2年10月2日（金）10：00～10：10
- 場所：危機管理センター災害対策本部会議室（北庁舎2階）

【鈴木副知事】

只今から、新生ふくしま復興推進本部会議、福島イノベーション・コースト構想推進本部会議の合同会議を開催いたします。

早速、議題の1つ目「国の令和3年度予算概算要求」、それから2つ目「福島イノベーション・コースト構想推進関連予算」について企画調整部長。

【企画調整部長】

資料1を御覧ください。政府予算対策といたしましては、6月の国への提案・要望を皮切りに、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底しながら国との協議をオンライン、直接対話を織り交ぜながら重ねてまいりました。

資料左側に、8月末の福島復興再生協議会の場において、知事から各大臣に要望いただきました項目を記載しております。右側には先月末に各省庁から提出された令和3年度概算要求の主な状況を対応させております。

第2期復興・創生期間の初年度となります次年度においても福島再生加速化交付金や特定復興再生拠点整備事業など、避難地域の生活環境整備に必要な予算や、心のケアを含む被災者支援に関する予算が盛り込まれております。

また、風評・風化対策を含む農林水産業の再生、産業・生業の再生のための企業立地補助金や、福島新エネ社会構想の実現に係る予算についても、引き続き計上されております。

加えて、税制改正要望では、福島イノベーション・コースト構想の推進や風評被害による経営への影響に対処するための特定事業活動に係る特例措置の創設等が盛り込まれたところであります。

今後、各省庁による財務省主税局等、財政当局との折衝に向け、各省庁の説明内容を後押しできるよう各部局、根拠となるデータ等を用いて丁寧に説明し、本県の要望が、年末の政府予算案で確実に決定されるよう実情を訴えてまいりたいと考えております。

資料2を御覧ください。福島イノベーション・コースト構想推進関連予算についてです。まず、イノベ構想の司令塔となる国際教育研究拠点の構築につき

ましては、基本構想の策定と産学官による協力体制の構築に向けたシンポジウムの実施について、新たな予算が計上されております。

次に、研究開発の推進及び産業集積の加速化につきましては、農林水産業分野の先端技術展開事業や医療関連分野の医薬品拠点化事業など、必要な予算が盛り込まれております。

次に、構想を支える教育・人材育成につきましては、復興知事業を進化させる取組に係る予算が盛り込まれております。

浜通り地域等への交流人口の拡大、拠点の運営への支援、推進体制基盤の強化についても、必要な予算が盛り込まれております。

引き続き、国・市町村と緊密に連携しながら、福島イノベーション・コースト構想の推進に向け、しっかり取り組んでまいります。

【鈴木副知事】

この件に関して、避難地域復興局長。

【避難地域復興局長】

避難地域の復興に向けて、生活環境の整備や帰還困難区域の再生、避難者支援の充実など、復興の進捗に応じた課題に対する支援を要望してまいりました。

その結果、被災者支援総合交付金や特定復興再生拠点整備事業など、必要な予算が計上されるとともに、福島再生加速化交付金については帰還環境の整備に加え、移住・定住の促進等が盛り込まれております。

引き続き、着実な予算化に向け、しっかりと取り組んでまいります。

【鈴木副知事】

次に、生活環境部長。

【生活環境部長】

生活環境部の関係では、中間貯蔵施設の整備、除去土壌等の適正管理や搬出など、本県の環境回復に必要な予算やふくしまグリーン復興による国立・国定公園の魅力向上など、未来志向で環境施策を推進する予算が盛り込まれております。

この他、鳥獣被害対策や被災地域における公共交通の確保など、県民生活の安定・向上を図るための予算が計上されております。

今後、これらの予算が確実に確保されるよう、引き続き、関係省庁と調整を

進めてまいります。

【鈴木副知事】

保健福祉部長。

【保健福祉部長】

保健福祉部では、被災者の心のケアへの支援や、避難地域等における医療提供体制の再構築など、被災地である本県に寄り添った、中長期的に必要な取組について、予算が計上されております。

今後も、感染症対策など、本県を取り巻く状況の変化を見据え、必要な予算の確保にしっかりと取り組んでまいります。

【鈴木副知事】

商工労働部長。

【商工労働部長】

商工労働部関連では、福島ロボットテストフィールドの関連経費や地域復興実用化開発促進事業など、福島イノベーション・コースト構想関連の予算が計上されました。また、被災12市町村の事業・生業の再生にかかる事業、企業立地補助金や福島観光復興支援事業費なども計上されております。

これらの予算が確実に確保されるよう、今後とも関係省庁との調整を図ってまいります。

【鈴木副知事】

農林水産部長。

【農林水産部長】

「3. 風評払拭・風化防止対策の強化」では、GAPの認証取得や販路拡大、ブランド力の向上など、風評払拭に向けた対策を推進するための「農林水産業再生総合事業」について、今年度と同額の47億円が計上されました。

「1. 避難地域の復興・再生」では、新たに被災12市町村における営農再開の加速化に向け、市町村を越えて広域的に生産、加工等が一体となった産地の形成に取り組む「高付加価値産地展開支援事業」が、新規として53億円計上されております。

その他、ほ場整備を始めとした農業・農村整備事業、森林の放射性物質対策なども計上されており、今後これらの予算が確実に措置されるよう関係省庁との調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

土木部長。

【土木部長】

土木部関連では、「6. 復興を支えるインフラ等の環境整備」であります。社会資本整備総合交付金（復興）による道路事業や国営追悼・祈念施設整備事業が盛り込まれております。

その他、「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」の後の激甚・頻発化する自然災害への対応については、金額は明示されておりましたが事項要求として盛り込まれております。引き続き、必要となる予算の確保に向け取り組んでまいります。

【鈴木副知事】

教育長。

【教育長】

1では、教職員の加配やスクールカウンセラーの配置、4ではイノベーション・コースト構想を担う人材育成など、福島ならではの教育を担うための予算が計上されております。

引き続き、細部について関係省庁と調整を進めてまいります。

【鈴木副知事】

他にありますか。

なければ知事からお願いします。

【知事】

国の来年度概算要求の内容がまとまりました。各部局長から発言があったように、それぞれが国との協議を進めてきたほか、新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底しながらあらゆる機会を捉えて令和3年度の予算確保を訴えてまいりました。

その結果、帰還や移住の促進を含む避難地域の環境整備や被災者の生活再建支援のほか、国際教育研究拠点を含む福島イノベーション・コースト構想の推進、さらに、税制改正要望など、おおむね本県要望を踏まえる形で、各省庁に対応していただきました。

これからがいよいよ大詰めであります。福島県は、ウィズコロナ・ポストコロナ対策を進めながら、復興にも全力を注いでいかなければなりません。第2期復興・創生期間の初年度となる来年度に向け、切れ目なく安心して復興・創生に取り組むため、必要な予算・制度について、確実に年末の政府予算案に盛り込まれるよう、引き続き、国との協議・調整を進めてください。

【鈴木副知事】

続いて、報告事項の3つ目「環境省との連携協力協定の締結」について生活環境部長。

【生活環境部長】

資料3を御覧ください。環境省との連携を強化し、未来志向の環境施策を推進していくため、去る8月27日に連携協力協定を締結しましたので、御報告いたします。

協定の内容について、資料真ん中下の4つの枠囲みを御覧ください。本協定は、国立・国定公園の魅力向上等を図る「ふくしまグリーン復興」、再エネ・省エネの一層の普及促進等による「地球温暖化対策」、そして国立公園におけるワーケーションの促進等の「ポストコロナ」の3つを施策の柱としております。また、本協定を効果的に実施するための「共通的事項」として、シンポジウム等を開催するものです。

関連施策の推進に向けて、関係部局とも連携を図りながら取り組んでまいりますので、引き続き御協力をお願いいたします。

【鈴木副知事】

今の件について、知事。

【知事】

先般小泉環境大臣と協定を締結しました。全都道府県の中でこうした協定は福島県だけということになります。

環境という分野は、日本全体の成長産業にとって、非常に重要な内容を含み

ます。幅の広い分野であります。こういった環境省との協定をいかして、幅広い施策展開、また復興・創生に活用していきたいと思いますので、各部局の総合的な連携をよろしくお願いします。

【鈴木副知事】

以上で、合同会議を閉じます。